

やましたの「^{いっさつ}今月の逸冊」

僕が本を読む理由は、考え方・価値観を広げるため。自分の知識や知恵なんてちっぽけなものだ。広げるためには、ある程度情報のインプットが必要だ。それには本が一番投資対効果が高い。たかが1500円程度の投資で、10数倍の価値を得ることがある。それはお金だけではなく、これからの生き方として、人生の糧となる。だから僕は今日も本を読む。



減速して自由に生きる: ダウンシフターズ (文庫) ／高坂 勝 (著) ¥821(税込)

-Amazonより内容紹介-

システムから降りて好きなことをしても大丈夫! そこには楽しい人生が開けている。経済成長を追い求める企業でストレスを抱え自分の時間も働く人生よりも、小さく自営し、人と交流し、やりたいことをしたい。そう考えた著者の、開業までの道のりと、開業の様々な具体的なコツと考え方、生き方を伝える。文庫化にあたり15の方法を1章分追記。

◎ 下りて、見えるものがある。

「下りる」という行為は勇気がいる行動です。でもそれを体験するとなんてことありません!僕は「下りる=捨てる」と定義しています。人は何かを“加える・上がる”というのが好きなようです。新しい物を買う、新しいことをやる、売上を上げるなど、ドンドン加えていきます。しかし、それを捨てる(下りる)というのは苦手なようです。ただ、思うんです。捨てないと入ってこないんじゃないかと。例えば、タンスの中がいっぱいなのに、新しい洋服を買ってきても入りませんし、着れません。だから、何かを加える場合は、今までのモノを何か捨てないといけないんです。経営者の方で、いま結果が出ていないのであれば、それは今までの考え方・やり方・価値観が間違っていたから結果が出ていないんです。だから捨てないと良い結果は出ません。しかし、捨てるって怖いんですよね・・・。

「足るを知る」というのも重要です。別に成長を否定している訳ではありません。かく言う僕も、人よりかなり成長意欲は高いはずですが、身の丈に応じて、ゆっくり成長するというのが大事だと思います。この本で書かれている、基準金額を再確認して、そこから落ちないように、安定したビジネスを作る。そこから、現状維持するのか、それより上を目指すのか、それは人それぞれ選択すればいいんです。そうすると、基準金額を理解しているので、万が一売上(利益)が落ちてても精神的に落ち込まないと思います(未体験)。例えば、年収3000万円の人が、半分の1500万円になったら、かなり落ち込むと思います。年収1500万円でもですよ!(こちら未体験(笑))

【気づきの逸文】

- ▶私の考える豊かさとしあわせの秘訣は、手間暇かかることを手放さないことです
- ▶何を怖がっているのだろうか。もう他人からの評価で生きることから卒業したい
- ▶今まで常識と生きてきたことを逆説的にとらえればいいんだ
- ▶他者を受け入れる気持ちを大切にさえすれば、好き嫌いを表現することをはばかる理由はもうありません
- ▶基準金額以上稼がないことにすれば、おのずとすべきこと、しなくていいことが見えてくる
- ▶横出世とは、会社以外の場所で必要とされる存在になること
- ▶私は自分の暮らしや欲を満たすために、一方通行的なお金の使い方しかしていませんでした